

中国・四国ブロックエイズ治療拠点病院等連絡協議会

中国四国ブロックのエイズ対策の実施状況について



広島大学病院血液内科

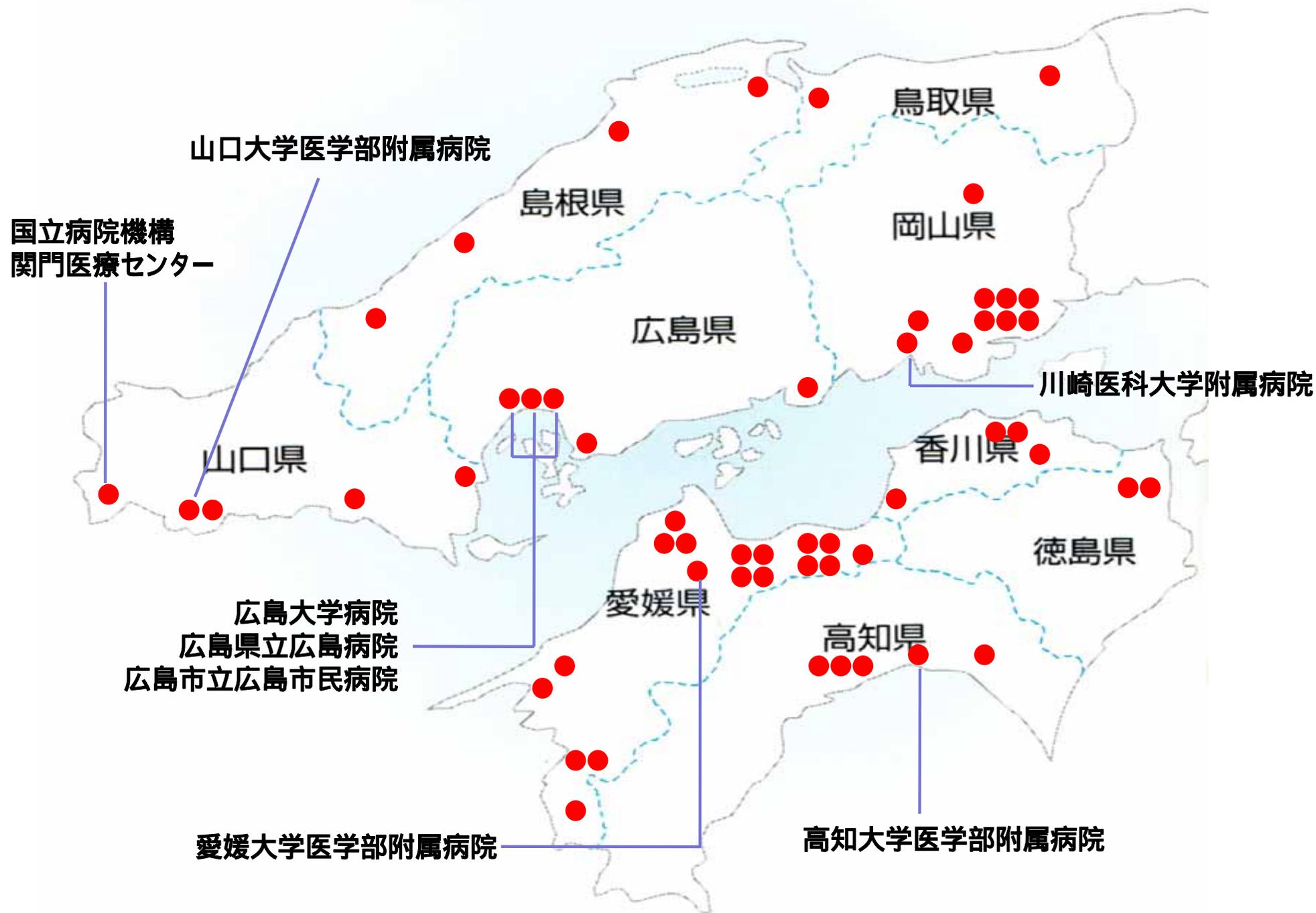
(原医研血液内科)

木村 昭郎



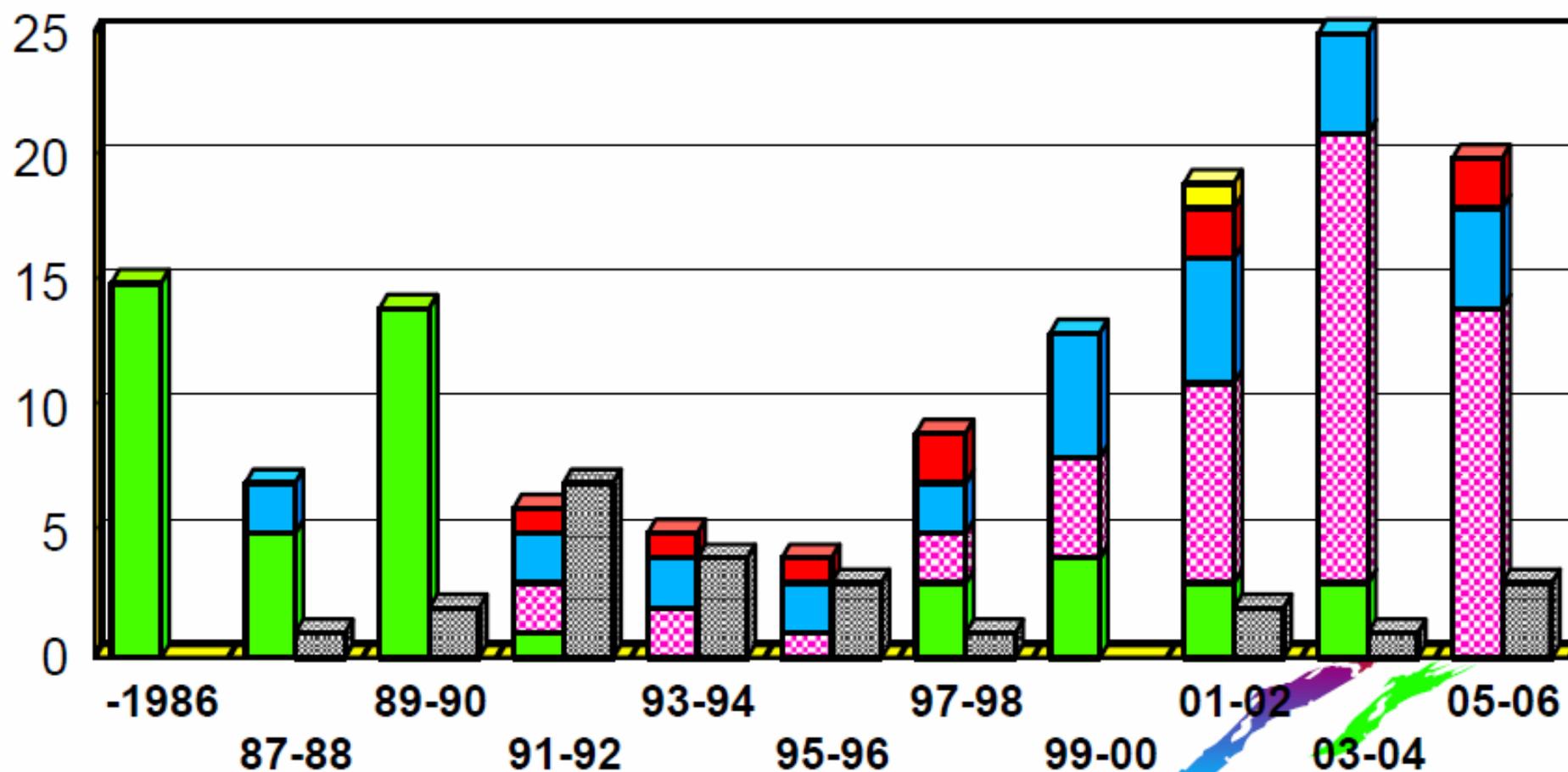
平成19年8月23日

中国・四国ブロックの拠点病院



広大病院の2年ごとの新患者数と死亡数

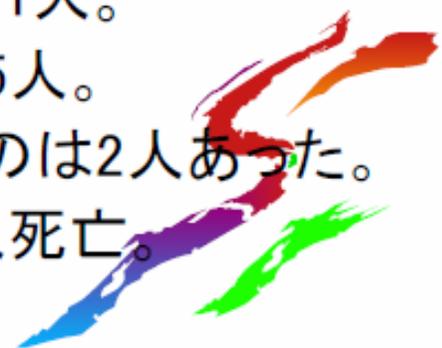
■ 血液製剤
 ■ 同性間男
 ■ 異性間男
 ■ 異性間女
 ■ 母子
 ■ 死亡数



Takata, Dec. 2006

2004年1月～2006年12月の初診患者

- 性別：男36人、女2人
- 国籍：日本人34人、外国人4人
- 年齢：20才～53才(平均36.1±8.2才)
- 居住地：広島県内27人、県外11人
- 院外からの紹介33人、院内での発見が5人。
- 感染経路：異性間男性4人、異性間女性2人、同性間男性30人、血友病は2人で転居とセカンドオピニオン
- エイズ発病は15人。内訳→PCP10人、リンパ腫2人、HIV脳症1人、CMV腸炎1人、CMV網膜炎1人、カンジダ食道炎1人。
- 半年以内の感染(急性感染)と推定：5人。献血：5人。
- 未治療30人の検査で、薬剤耐性HIVであったものは2人あった。
- 転帰：入院15人。転出5人で33人をフォロー。1人死亡。



包括的ケアの提供

1. 広大病院のHIV感染症診療

- ・外来カンファレンス：医師、看護師、薬剤師、心理士、MSW
- ・肝疾患専門医との合同カンファレンス
- ・心理士とMSWの合同カンファレンス
- ・迅速検査の導入

2. ブロック拠点病院連絡会議(広島県中核拠点病院会議)

- ・広大病院、広島市民病院、県立広島病院の3病院及び県保健対策室
- ・連絡会議(医師、看護師、薬剤師、心理士、MSW、県職員)
報告事項、協議事項、行事計画、文献紹介、症例検討、レクチャーなど

研修会

- ・医療体制構築のための連携会議(12月 川崎医大にて予定)
- ・中核拠点病院の医師研修会(未定)
- ・拠点病院の薬剤師研修会(1泊2日)2回(6月、1月に予定)
- ・拠点病院の看護師研修会(初心者向け2回、アドバンス1回)
(1泊2日)(8月、9月、12月に予定)
- ・拠点病院のMSWネットワークミーティング(11月に予定)

医療体制構築のための連携会議 - 均てん化を目指して -

- 日** 時:平成19年2月3日(土)愛媛大学医学部
- 対** 象:中核拠点病院の医師、看護師、愛媛大学病院の職員
- 職種別会議:**「HIV/患者の看護 - ニューモシスチス肺炎患者の事例を通じて -」**杉田ACC看護師**
「HIV感染者におけるC型慢性肝炎の治療」
本田ACC医師
- 全体会議:**「外来患者に対する支援 - 初診時の対応と患者教育 -」**島田ACCコーディネーター**
「中国四国ブロックにおける医療者のためのエイズ研修プログラム」**ブロック拠点病院 広大 高田医師**
- まとめ・総合討論**

中国四国地区エイズ診療医師研修の ための研究会議

対象者:中国四国地方のエイズ診療拠点病院に勤務する医師

開催日:平成19年3月4日(日)

研修場所:広島大学病院入院棟カンファレンスルーム2

- ・話題「我が国におけるエイズ医療体制の変遷と現状」(広島大学 高田 昇)
- ・話題「HIV感染症の患者が受ける心理社会的支援」(県立広島大学 大下由美)
- ・話題「セクシャリティーについて」(東京女子医科大学 井戸田一朗)
- ・話題「HIV感染症で遭遇する日和見疾患の診断と治療」(広島大学 藤井輝久)
- ・会議「医師のためのエイズ研修の課題と対策」

薬剤師のための抗HIV薬服薬指導研修会

対象; 中四国ブロックの拠点病院に勤務する薬剤師

形式; 講義と体験学習による研修会(1泊2日)

講師・スタッフ; 臨床心理士・医師・薬剤師・MSW・感染者

参加人数

- H10年度より通算18回、本年度2回実施予定
- 薬剤師、心理・MSW 総計328名、第17回薬剤師33人、
心理士・MSW17人

評価: エイズ診療とチーム医療体制の充実に貢献

課題: 実務経験の不足



平成19年度(第19回)薬剤師のための 抗HIV薬服薬指導研修会 (広島市)

6月30日(土)

講義:HIV感染症の治療(ACC 岡先生)

:HIVカウンセラーとして考えていること

(東京医大心理士 森田先生)

症例検討:(厚木市立病院薬剤師 岩崎先生)

感染症の患者さんの話

演習:「ロールプレイによる服薬指導の体験的学習(1)」

(広島大心理士 児玉先生他)

7月1日(日)

演習:「ロールプレイによる服薬指導の体験的学習(2)」

(広島大心理士 内野先生他)

看護師のためのエイズ診療従事者研修会

開 催:初心者コース 年2回

平成19年8月1日～2日、9月5日～6日

アドバンスコース 年1回 未定

対 象:初心者コース:拠点病院に勤務する看護師

アドバンスコース:初心者コースに参加したことのある
看護師

形 式:講義と体験学習による研修会(1泊2日)

第2回看護師のためのエイズ診療従事者研修 (アドバンスコース)

対 象: 第1回から第10回の「看護師のためのエイズ診療従事者研修」に参加したことのある看護師 10名

場 所: 広島大学病院

12月13日(水)

- ・「HIVの現状」(医師)
- ・「入院治療が必要なエイズ指標疾患の診断と治療」(医師)
- ・「HIV感染者への社会的支援」(MSW)
- ・「急性期看護と危機理論」(看護師)
- ・「AIDS看護」(看護師)
- ・「チーム医療における看護師の役割」(看護師)
- ・「セクシャリティーの多様性と同性愛者の発達心理」(NPO)

12月14日(木)

- ・事例検討
- ・ディスカッション「研修を実施に活かすには」

第2回保健医療ソーシャルワーカーネットワーク会議

日 時: 2007年2月17日(土) ~ 18日(日)

場 所: 聖カタリナ大学

参加者: 17名(男性4名、女性13名)(支援経験あり11名、なし6名)

- ・講義「HIV治療 最近の動向」(広島大学 高田先生)
 - ・講義「地域における長期診療患者への支援」(関西学院大 小西先生)
 - ・情報交換会「中四国地域における長期療養患者支援の現状」
 - ・討議「今後のネットワークのありかたについて」
-
- ・単なる仲介者でなく各機関と協同し支援体制を確立することを確認
 - ・参加に満足、継続的開催希望
 - ・医学情報、援助技術向上に関する研修希望

情報提供

- 1.ウェブ「中四国エイズセンター」 8年, 42万ヒット
<http://www.aids-chushi.or.jp>
- 2.メーリングリスト「AIDS-chushi」 3年, 80人、1,150件
<http://groups.yahoo.co.jp/group/AIDS-chushi/>
- 3.中四国HIVカウンセラーネットワーク
- 4.中四国HIV看護師ネットワーク

中国四国ブロック内HIV担当カウンセラー ネットワーク

目的:担当カウンセラーのサポート体制をつくる

参加者:メーリングリストへ57名

活動:メーリングリストによる情報提供、情報交換

(昨年より78件 研修会・講演会の案内、内容報告、
HIVカウンセラーに役立つホームページなどの情報、
パンフレットなどの資料の紹介)

運営:広島大学病院エイズ医療対策室と広島県臨床心理
士会の共同事業

事務局:広島大学病院エイズ医療対策室 喜花伸子

中国四国ブロック内HIV担当看護師ネットワーク

目 的:担当看護師のサポート体制をつくる

参加者:メーリングリストへ25名

活 動:メーリングリストによる情報提供、情報交換

(研修会・講演会の案内、内容報告、HIVカウンセラーに役立つホームページなどの情報、パンフレットなどの資料の紹介)

運 営:広島大学病院エイズ医療対策室

事務局:広島大学病院エイズ医療対策室 後藤文子